

日本混相流学会 2012 年度第 3 回理事会・議事録

日時： 平成 24 年 12 月 15 日(土) 13:00-17:00

場所： (東京) 関西大学東京センター 9 階会議室

出席者：

秋本肇(会長)、菱田公一(筆頭副会長)、道奥康治(副会長)、小泉安郎(副会長)、梅川尚嗣(情報部会長)、川原顕磨呂(企画部会長)、大川富雄(国際部会長)、呉田昌俊(総務部会長)、尾池守(東北地区担当)、森昌司(関東地区担当、OMF 担当)、服部修次(北陸・信越地区担当、学生会担当)、真田俊之(東海地区担当)、梅田眞三郎(中国・四国地区担当)、吉野正人(混相流シンポジウム実行委員長)、野村信福(オーガナイズド混相流フォーラム実行委員長)、賞雅寛而(ICMF 運営委員長)、近藤健(事務局長)

議題と配布資料：

1. 前回議事録の確認 [資料 2012-3-01]
2. 情報部会報告 [資料 2012-3-02]
3. 企画部会報告
  - ①第 62 回理論応用力学講演会について(報告) [資料 2012-3-03]
  - ②第 17 回オーガナイズド混相流フォーラム(OMF2013)について(報告) [資料 2012-3-04]
  - ③混相流レクチャーシリーズ 38 の準備状況について(報告) [資料 2012-3-05]
  - ④マイクロバブル・ナノバブルの標準化への道筋を検討するワーキンググループの進捗報告(報告) [資料 2012-3-06]
  - ⑤2013 年度学生会夏季セミナー(第 14 回)(案)について(報告) [資料 2012-3-07]
  - ⑥年会講演会/混相流シンポジウムの開催準備状況について(報告)
4. 総務部会報告 [資料 2012-3-08]
5. 審議・承認事項
  - ①学会賞委員会について(菱田学会賞選考委員長) [資料 2012-3-09]
  - ②評議員候補の選任について(総務部会長担当) [資料 2012-3-10]
  - ③監事候補の選任について(菱田副会長担当)
  - ④分科会「サステナブル異分野融合型混相流」の年間活動費の増額要求 [資料 2012-3-11]
  - ⑤研究分科会・研究会活動経費を OMF2013 共催金としての使用について [資料 2012-3-12]
  - ⑥年会講演会における特別講演について
  - ⑦「混相流シンポジウム」の名称について(日本学術会議と混相流学会との関係について)
  - ⑧混相流学会現状に関し(小泉情報・財務担当副会長) [資料 2012-3-13]
6. 連絡事項

議事：

1. 報告事項

1. 1 資料 2012-3-01「前回議事録の確認」について、事前確認をしていることから、1 週間後までにコメントがなければ承認することとした。(コメントがなかったため承認)。
1. 2 梅川情報部会長から、資料 2012-3-02 により情報部会の活動報告がなされた。
1. 3 道奥副会長から、資料 2012-3-03 により第 62 回理論応用力学講演会について報告がなされた。  
菱田副会長から、毎年 OS を混相流学会がやった方がよいとの提案があった。
1. 4 森 OMF 担当理事から、資料 2012-3-04 により第 17 回オーガナイズド混相流フォーラム(OMF2013)

について、千葉県で開催予定である旨報告がなされた。小泉副会長から、研究企画委員会の中に「バイオ混相流研究」を立ち上げ、長野で開催される混相流シンポジウムの次から判断して、OSを組むことを検討している旨報告された。

1. 5 川原企画部会長から、資料 2012-3-05 により混相流レクチャーシリーズ 38 の準備状況について報告された。
1. 6 寺坂混相流技術リエゾン推進委員会委員長から提出された資料 2012-3-06 により、マイクロバブル・ナノバブルの標準化への道筋を検討するワーキンググループの進捗報告がなされた。秋本会長から、事実関係の確認を菱田副会長に依頼された。
1. 7 服部学生会担当理事から、資料 2012-3-07 により 2013 年度学生会夏季セミナー（第 14 回）について報告（開催予定案の提示）がなされ、確認した。
1. 8 吉野年会講演会・混相流シンポジウム実行委員長から、年会講演会/混相流シンポジウムの開催準備状況について報告がなされた。12 月号会告には「年会講演会」について掲載することとし、特別講演については、中日に 2 名を予定している旨報告された。2015 年度の年会講演会・混相流シンポジウムは中国・四国地区が担当し、蝶野先生（高知工科大学）が委員長候補者であることが報告された。
1. 9 呉田総務部会長から、資料 2012-3-08 により報告された。

## 2. 承認・決定事項

2. 1 梅川情報部会長から、資料 2012-3-02 により情報部に係わる審議要請がなされた。審議の結果、学会誌の表紙デザイン費については、5 年間で 20 万円とすることに承認した。なお、デザイナーは事務局に一任しデザインは 5 年間同じとし、色を変える程度の変更とした。学会誌広告料については有料とし、金額は優遇処置に配慮しつつ情報部会/編集委員会が決定することとした。学会便りは情報部会が担当することを確認した。
2. 2 呉田総務部会長から、資料 2012-3-08 により総務部に係わる審議要請がなされた。審議の結果、2014 年年会講演会/混相流シンポジウムは北海道地区が担当し、奈良林先生（北海道大学）が実行委員長として承認された。HP へのリンクとバナーについて審議し、HP へのリンクは問題がないことを確認した。バナーに関しては現在ないため、適当なバナーを総務が判断して渡す方針が承認された。
2. 3 学会賞委員会について審議し、学会賞委員会を常設委員会として設置することを承認した。副会長が委員長となり、委員 6~7 として非公開とする。菱田副会長から、功績賞は継続的に、推薦とのバランスをとって「推薦ベース」でやる。また論文賞は、ノミネートをあげて「ピックアップの論理」で継続してやる。規約を作らず理事会承認でやる旨の方針が示され、秋本会長から、学会としてこうあるべきという側面を進める方針が示された。
2. 4 評議員候補者および幹事候補者が、地区代表および筆頭副会長から提示され、理事会はこれを承認した。
2. 5 川原企画部会長から、資料 2012-3-11 により分科会「サステナブル異分野融合型混相流」の年間活動費に関して 5 万円増額要求があり、これを審議し承認した。
2. 6 資料 2012-3-12 により OMF2013 と分科会・研究会との共催について審議し、共催ではなく共同事業とし、一括して活動費を計上する方針となった。
2. 7 2012 年度第 4 回・第 5 回理事会日程を以下に確定し、開催場所を以下の予定で了解した。

第 4 回	3 月 2 日 (土)	13:00-17:00	大阪ガーデンパレス	406 号室	(確定)
第 5 回	7 月 13 日 (土)	13:00-17:00	関西大学東京センター		(確定)

## 3. 審議事項

3. 1 年会講演会、混相流シンポジウムの名称について審議し、理事会として年会講演会の名称を混相流シンポジウムとすることを決定した。以下に審議内容を記す。
- ・ 学術会議との関係において「混相流シンポジウム」という名称使用に関する問題はない。年会講演会を混相流シンポジウムに名称を戻す方がよい。(菱田副会長)
  - ・ 何も問題ない (小泉副会長)
  - ・ 賛成 (梅川理事、森理事、道奥副会長)
  - ・ 学会内部への説明が必要 (近藤事務局長)
  - ・ 学術会議主催ではなく、学会がひとり立ちして自由に特別講演会を実施する。「混相流シンポジウム 2013」のように名称を変更して、3月号会告で名称変更を会長名で公示する。(秋本会長)
3. 2 小泉情報・財務担当副会長から、資料 2012-3-13 により学会の役割、混相流学会現状、現状をチェックする体制、混相流学会の現在抱える問題と対応に関する説明がなされた。混相流学会の現在抱える問題と対応に関しては、規模、財政、会費値上げ、経費削減、論文集、情報発信、社会との接点に関して問題点が提示された。本理事会開催時間の制限により、次回理事会以降も継続的に審議をすることとした。

以上

総務委員長：呉田 昌俊